

ねん がつ にち
2020年12月12日

たいこうせつだいさんしゅじつ
待降節第三主日

きくち いさおだい しきょう
菊地 功大司教 メッセージ

しんがた かんせんしょう しゅうそく む たいこうせつ こうはん
新型コロナウイルス感染症は、なかなか収束に向かわず、それどころか、待降節が後半
はい しゅ こうたん ま のぞ じゅん び とし さい たいこうせつ
に入り、主の降誕を待ち望む準備の時にあったこの時期、さらに勢いが増しています。
せ かいかくち おお ひと き き ちよくめん びょうしょう ひび す
世界各地で多くの人が、いのちの危機に直面し、病床での日々を過ごしておられます。
びょうしょう かたがた こころ いの もう あ とま にも にち や と
病床にある方々のために心からお祈り申し上げると共に、いのちを守るために日夜取
く り 組んでおられる医療関係者の皆様に、感謝申し上げます。徐々にではあるものの、こ
かんせんしょう たいしよ みちすじ み い くらやみ なか と のこ ふあん なか
の感染症に対処する道筋が見えてきたとは言え、やはり暗闇の中に取り残され不安の中
さまよ かんかく ぬ だ でき ことし たいこうせつ
を彷徨っているといた感覚から、まだまだ抜け出すことが出来ません。今年の待降節
は、そんな暗闇の中に彷徨いながら、主の降誕に向けた霊的準備を進めなければなりません。

いわ い にほん がつ にち いわ
クリスマスのお祝いと言え、日本では12月24日の「クリスマスイヴ」にお祝いするの
ていばん がつ むづか ことし れいねん も あ かくち み
が定番となっています。集まることが難しい今年、例年のような盛り上がり各地で見
られるかどうかは予測が難しいのですが、教会も24日の夜のミサでは、多くの人を迎
えて祈りの時を過ごしてきました。

いわ ひ く よる いわ ぞん
クリスマスイヴですから、そのお祝いは日が暮れてからの、夜のお祝いです。ご存じの
じっさい がつ にち にち ぼん いわ あやま
ように実際のクリスマスは12月25日ですが、24日の晩のお祝いもあながち誤りではあ
りません。ユダヤの暦が日没を新しい一日の始まりとしていることをさておいても、
い わ よる いわ
そもそもクリスマスのお祝いは夜のお祝いであります。

たんじょう よる やみ はいけい せいしょ えが そうげん のじゆく ひつじか
イエスの誕生は夜の闇を背景として、聖書に描かれています。草原に野宿する羊飼
やみ なか かがや ほし ひかり みちび たんじょう ぼしょ とうたつ
たちは、闇の中、輝いた星の光に導かれてイエスの誕生した場所へ到達します。そ
よる やみ う ほら たか さんび うた てんし ひかり かがや て
こでは夜の闇を打ち払うかのように、高らかに賛美を歌う天使たちの光が輝き照ら
ます。

くらやみ かがや ひかり きぼう うしな ふあん なか あゆ たみ て いのち きぼう ひかり くらやみ かがや
暗闇に輝く光。希望を失い不安の中を歩む民を照らす、命の希望の光。その暗闇に輝

く^{ひかり}光のイメージこそが、^{たんじょう}誕生した^{おさなご}幼子の持つ^{いみ}意味をわたしたちに^{めいかく}明確に^{しめ}示します。

^{かみ}神のひとり子であるイエスは、^{つね}常にわたしたちと^{とも}共におられる^{かみ}神、インマヌエルであります。その^{とも}共におられるイエスは、^{かみ}神の「ことば」そのものであります。^{ひと}人となられた^{かみ}神のことばは、^{やみ}闇の中を^{なか}歩む^{あゆ}民を^{たみ}照らす^て希望の^{きぼう}光です。^い生きる^{きぼう}希望を生み出す^う存在^だです。^{ひかり}その光は、^{かみ}神の^いいつくしみ^{かみ}そのものでもあります。わたしたちを^{かみ}神の^いいつくしみ^もを持って^つ包み込み、^{すす}進むべき^{みち}道を^{めいかく}明確に^{しめ}示し、その^{みち}道を^{かくしん}確信と^{きぼう}希望を持って^{あゆ}歩むことが出来るように、^{あゆ}歩みを^{とも}共に^{ひかり}される^{たんじょう}光。それが^{おさなご}誕生した^{しゅ}幼子、主イエスであります。

^{ふくいん}福音は、^{せんれいしゃ}洗礼者^{ひかり}ヨハネが、その^{せんくしゃ}光の^{ひかり}先駆者として、^{つか}光をあかすために^{つか}使わされた^{しる}と^{しゅ}記します。「^{しゅ}主の^{みち}道を^あまっすぐに^のせよ」と^{さけ}荒野で^{こえ}叫ぶ^{しる}声であると^{しる}記します。

^かコロナ禍にあつて^{しゃかいぜんたい}社会全体が^{やみ}闇の中^{なか}に^す捨て^お置かれて^{かん}いるように^{いま}感じる^{せん}今だからこそ、^{れいしゃ}洗礼者^{せんくしゃ}ヨハネの^{ひつよう}存在が^か必要です。^{くらやみ}暗闇にあつて^{かがや}輝く^{いのち}命の^{ひかり}光をあかしし、^{すす}進むべき^{みち}道を^さ指し^{しめ}示す^{こえ}声となる^{せんくしゃ}先駆者^{ひつよう}ヨハネが^{ひつよう}必要です。

^{げんだいしゃかい}現代社会にあつて、わたしたち^{しゃ}キリスト者^{いのち}は、^{ひかり}命の^{きぼう}光、^{ひかり}希望の^{ひかり}光であるイエスをあかしし、^{めいかく}明確に^{しめ}示し、^{ひかり}光に^{したが}従って^{すす}進むべき^{みち}道を^{しめい}整える^{ひかり}使命があります。^{かみ}光そのものである^つ神のことば^{しめい}を、^{おこな}告げしらせる^{かみ}使命があります。わたしたちはイエスがその^{ことば}言葉と^{おこな}行いを持って^{しめ}示した^{かみ}神の^{あい}愛と^{いのち}いつくしみと^{きぼう}命の^{じしん}希望を、わたしたち^{ことば}自身の^{おこな}言葉と^{おこな}行いで^{おも}あかしして^{おも}いきたいと思ひます。